

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は時間数				実務経験有	省令で定める基準単位数又は時間数	配置困難		
			授業科目	単位(時間数)	担当時間数						
看護専門課程 2年課程	看護科		専門基礎分野	と人体の機能の構造							
				人体の構造		1(30)	30	○			
				人体の機能		1(30)	30	○			
				生化学・栄養学		1(30)	30	○			
				疾病の成り立ちと回復の促進	疾病の成り立ちと治療Ⅰ	①病理学及び病態生理学	1(30)	20	○		
					疾病の成り立ちと治療Ⅰ	②内分泌疾患		10	○		
					疾病の成り立ちと治療Ⅱ	①呼吸器疾患	1(30)	14	○		
					疾病の成り立ちと治療Ⅱ	②循環器疾患		16	○		
					疾病の成り立ちと治療Ⅲ	①消化器疾患	1(30)	16	○		
						②腎疾患		8	○		
						③泌尿器疾患		6	○		
					疾病の成り立ちと治療Ⅳ	①脳神経疾患	1(30)	16	○		
						②運動器疾患		14	○		
			疾病の成り立ちと治療Ⅴ		①眼疾患	1(30)	4	○			
				②耳鼻咽喉疾患	4		○				
				③皮膚疾患	4		○				
				④女性生殖器疾患	8		○				
				⑤血液・造血疾患	10		○				
			疾病の成り立ちと治療Ⅵ	①微生物	1(15)	5	○				
				②アレルギー・膠原病		4	○				
				③感染症疾患		6	○				
			臨床薬理学		1(30)	30	○				
			専門分野	基礎看護学	看護の原点		1(15)	15	○		
					看護過程の展開		1(30)	30	○		
					身体の中の声を聴く技術		1(30)	30	○		
					生命維持を助ける技術Ⅰ		1(30)	30	○		
					生命維持を助ける技術Ⅱ		1(30)	30	○		
					考える生活援助技術		1(30)	30	○		
				地域・在宅看護論	地域・在宅看護入門		1(30)	30	○		
					地域と暮らし		1(30)	30	○		
					家族看護		1(15)	15	○		
					療養生活を支える技術		1(30)	30	○		
					療養生活を支える多職種連携		1(30)	30	○		
							1(30)	30	○		
				成人看護学	成人看護学概論		1(15)	15	○		
					成人看護学方法論Ⅰ		1(30)	30	○		
					成人看護学方法論Ⅱ		1(30)	30	○		
					がん看護		1(30)	30	○		
							1(30)	30	○		
				老年看護学	老年看護学概論		1(15)	15	○		
					老年看護学方法論Ⅰ		1(30)	30	○		
老年看護学方法論Ⅱ		1(30)			30	○					
小児看護学	小児看護学概論			1(30)	30	○					
	小児看護学方法論Ⅰ			1(30)	30	○					
	小児看護学方法論Ⅱ			1(15)	15	○					
母性看護学	母性看護学概論			1(30)	30	○					
	母性看護学方法論Ⅰ			1(30)	30	○					
	母性看護学方法論Ⅱ			1(30)	30	○					
精神看護学	精神看護学概論			1(30)	30	○					
	精神看護学方法論Ⅰ			1(30)	30	○					
	精神看護学方法論Ⅱ			1(15)	15	○					
看護の統合と実践	医療安全・看護管理			1(30)	30	○					
	災害看護			1(30)	30	○					
	臨床看護の実践			1(30)	30	○					
	看護研究の探求			1(30)	30	○					
位総数単				41	1,305						

	合計	1年次
講義単位数(時間数)	53(1380)	38(1035)
実習単位数(時間数)	16(670)	3(130)
合計	69(2050)	41(1165)